



穴門山神社本殿及び穴門山神社拝殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	あなとやまじんじゃほんでんおよびあなとやまじんじゃはいでん
所在地	高梁市川上町高山
指定年月日	昭和52年4月8日
解説	本殿は、宝暦3年(1753)の建築で、桁行3間、梁間2間の三間社流造、銅板葺である。桃山期の技法を受け継ぎ、妻に装飾を施した流造の社殿で、全国的に見ても珍しいと言える。平成7年に追加指定となった拝殿は、18世紀前期の建築で、正面5間、側面3間、入母屋造、檜皮葺。入母屋造の大屋根と唐破風造の向拝が優美な外観を見せ、墓股や木鼻の優れた意匠が注目される。また、平成19年に、これら本殿・拝殿の建築の歴史を示す棟札6枚が附(つけた)りとして追加指定された。
アクセス方法	高梁駅から車で50分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	